

部署名：1階 外来

スタッフ人数：看護師長 1名・副看護師長 4名・看護師 20名
看護アシスタント 7名 （計32名）

部署の雰囲気：

A・B・C ブロックで特徴があります。

A ブロックは、消化器内科外科や肝臓内科など患者数が一番多いブロックです。忙しいですが、まじめで一生懸命なスタッフが多いです。

B ブロックは、腎臓内科や脳神経内科外科、緩和ケア、放射線治療科など特殊な科が多く、協調性のある明るいスタッフが多いです。

C ブロックは、整形・形成外科、皮膚科など、日帰り手術や処置の介助も行っており、テキパキとした準備やきめ細かな配慮ができるスタッフが多いです。

部署の自慢できること：

2年前から、A・B・C ブロック、また2階外来へのリリーフ体制を強化してきました。スタッフは、所属のブロックだけでなく他のブロック(診療科)の介助も行えるようになっています。

外来は、子育て世代のスタッフも多く、急な休みの対応や学校の行事などにあわせてリリーフ体制の強化は、働き方改革になっています。毎月勤務表作成時に、各ブロックの副看護師長で話し合いを行い調整を行っています。

師長(管理者)からのメッセージ：木村 裕美

モットー・大事にしていること：明るく元気で前向きに

外来1階は、A(消化器内科・外科、一般外科、肝臓内科・総合診療科・呼吸器内科・外科)・B(脳神経外科・内科、腎臓膠原病内科・糖尿病内科・放射線科・緩和ケア内科・ペインクリニック科)・C(整形外科・形成外科・皮膚科)の3ブロックで構成されています。また、看護外来として、ストマ外来・フットケア外来・糖尿病相談外来・リンパ浮腫外来を行っています。

看護スタッフは、師長1名、副看護師長4名、看護師20名、看護アシスタント7名の計32名で、1日700名の患者さんに外来看護を提供しています。

外来は、診療や検査・処置だけでなく、治療方針を決定する場でもあり、他職種と協力して、患者さんやご家族に寄り添った看護を大切にしています。

また、師長の口癖である「患者さんの気持ちになって」「先を考えた気配り」「明るく元気で前向きに」をスタッフと共有し、患者さん・ご家族・医師・他職種で一つのチームになって診療に取り組んでいます。

